



雨や風、雪や雷などの天気現象は、はるか上空にまで広がっている大気の中で起こっており、天気の変化は高層の大気の動きに支配されています。

「高層気象台」は、地上での気象観測の他、地上から高度35kmくらいまでの高層気象観測にはラジオゾンデを用い、更に地上に設置した光学機器などにより、大気オゾン量・放射量(日射の強さなど)・有害紫外線量を観測し、正確な天気予報や気候変動・地球環境の監視等に寄与しています。また、気球に軽い水素ガスを詰めて気象観測器を吊り下げて空に飛ばし、地上から高度約30kmまで、気温、湿度、風などの気象要素を連続的に観測しています。

こだわりが詰まったエコツアーは、「高層気象台」及び「気象研究所」を訪問し、世界でもトップクラスの「気象観測」に関連した研究成果及び最先端の知見や高層大気の観測等(天候にもよります)に触れ、我々が暮らす「地球」の未来について考えることを目的としています。

こだわりが詰まった

エコツアー参加者大募集

実施日時: 2023年6月21日(水)
13:00~17:30(予定)

訪問先: 高層気象台
気象研究所
(茨城県つくば市)

申込方法: 希望者は、2023年6月16日迄に氏名、所属、学生証番号、携帯番号を環境センター(ickankyo@hosei.ac.jp)にE-MAILにてお申込み下さい。

こちらの気球は高層気象観測用の「ラジオゾンデ」のイメージです。

参加者に使い捨てプラスチック削減を目指してえこびよん特製エコバッグを進呈



法政大学は、「持続可能な地球社会の構築を目指す拠点」としてSDGs(持続可能な開発目標)について重要課題と関連付けて取り組んでいきます。

2023年6月 法政大学環境センター

TEL:03-3264-5681, E-MAIL:ickankyo@hosei.ac.jp

